

科目番号	54009	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年	
科目名	健康教育方法論 (Methodology for Health Education)					1	
						配当セメスター	
						前期	
担当者	○駒田真由子	区分	必修	単位	1	時間数 15	
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連		
【概要・目標】 対象者の自己効力感を効果的かつ持続的に高めるための各種教育スキルを教育学や心理学の理論を応用して学ぶ。保健師として、対象者の自立を支えるための効果的な健康教育を実施するのに必要な視点を養う。					○	1.多様な課題に対応する高度な実践力 2.地域住民の自立を支える統合的支援能力 3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力 4.政策や保健事業を開発する能力 5.災害対応や新興・再興感染症への危機管理能力 6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力	
授業計画							
回	内 容					担当教員	
第1回	健康教育の基礎						
第2回 第3回	個人レベルに焦点を当てた健康行動理論 ヘルスピリーフモデル、統合的行動モデル、トランスセオレティカルモデル 他						
第4回	健康行動の個人間影響に関するモデル ソーシャルサポートとソーシャルネットワーク、ネットワーク理論 他					駒田	
第5回	集団に焦点を当てた健康行動理論 コミュニティオーガニゼーション、ソーシャルマーケティング、他						
第6回 第7回 第8回	各種理論の利用と健康教育の計画						
事前・事後 学習	事前学習：事前に教科書の該当箇所を熟読の上講義にのぞむこと。 事後学習：配布資料を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。						
評価の方法	授業への参加度 30%，レポート 70%から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。						
参考図書 ・資料等	◎Karen Glanz, Barbara K. Rimer, K. Viswanath 木原雅子, 加治正行, 木原正博 訳 健康行動学 メディカル・サイエンス・インターナショナル						
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						